

平成 24 年 6 月 26 日

各 位

会 社 名 八千代工業株式会社  
代表者の役職氏名 取締役社長 辻井 元  
( J A S D A Q ・ コード 7 2 9 8 )  
問い合わせ先 総務部長 水谷 泰之  
T E L 0 4 - 2 9 5 5 - 1 2 1 1

## 支配株主等に関する事項について

当社の親会社である本田技研工業株式会社について、支配株主等に関する事項は、下記のとおりになりますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く）又はその他の関係会社の商号等

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
本田技研工業株式会社	親会社	50.4	0.1	50.5	株式会社東京証券取引所市場第 1 部 株式会社大阪証券取引所市場第 1 部 ニューヨーク証券取引所 (米国) ロンドン証券取引所 (英国)

#### 2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

##### (1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け

本田技研工業株式会社は、当社議決権の 50.5%（間接所有を含む）を保有する親会社であります。

当社は、自動車及び自動車部品の製造及び販売を行っており、その売上高の 9 割以上は、当社の親会社である本田技研工業株式会社及びそのグループ会社に依存しております。

人的な関係においては、平成 24 年 3 月 31 日現在、当社の取締役 8 名のうち 6 名、監査役 4 名のうち 1 名が親会社の出身であり、いずれも当社からの要請に基づくものであります。また当社からの要請に基づき、当社の業務を支援するため、別表のとおり出向者を受け入れております。

(別表 出向者の受入れ状況)

(平成 24 年 3 月 31 日現在)

部署名	人数	出向元の親会社等又は そのグループ企業名	出向者受入れ理由
管理本部	3	本田技研工業株式会社	総務、広報および法務に関する業務を 支援するため
事業企画室	1	本田技研工業株式会社	事業企画に関する業務を支援するため
開発本部	2	株式会社本田技術研究所	部品開発業務を支援するため
開発本部	1	ホンダエンジニアリング株式会社	生産技術業務を支援するため
完成車事業本部	4	本田技研工業株式会社	軽自動車の生産業務を支援するため

(注) 平成 24 年 3 月 31 日現在の当社の従業員数は 2,294 名であります。

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット

本田技研工業株式会社とは、継続的な取引上の関係にあり、今後もさらに同社との関係を継続するよう努めるとともに、魅力ある製品の創出、海外事業展開の加速、本田技研工業株式会社及びそのグループ会社以外への販路の拡大等の施策を今後はさらに推進していきますが、同社及びそのグループ会社の生産及び販売動向等により、当社の業績は影響を受ける可能性があります。

(3) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方、そのための施策及び独立性の確保の状況

当社と親会社の間で資本関係、取引関係等の面で密接な関係にありますが、経営方針及び事業活動等においては、自立を基本としており、親会社と親会社以外の株主の利益が実質的に相反するおそれのある取引を行う場合には、社外監査役を含めた取締役会において多面的に議論し、決定するなど、親会社のみならず広く株主全般の利益の確保に努めており、一定の独立性は確保しているものと認識しております。

### 3. 支配株主等との取引に関する事項

(自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日)

種類	会社等の名称 又は氏名	所在地	資本金 又は出 資金(百 万円)	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有 (被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)	
親会社	本田技研工業 株式会社	東京都港区	86,067	輸送用機械 器具及び原 動機、農機具 その他の一般 機械器具の 製造及び販 売	被所有 直接 50.4 間接 0.1	当社の製品 の販売先及 び原材料の 購入先並びに 土地・構築物 等の賃貸先	営業 取引	166,906	自動車 の組立 及び部 品等の 販売	売掛金	23,843
							営業 取引	129,020	原材料 の購入 土地・ 構築物 等の賃 貸	買掛金	17,377
							営業 取引 以外の 取引	87		未収入金	7
							営業 取引 以外の 取引	9,530	受取 補償金	未収入金	9,530

(注) 1 受取補償金については、ホンダグループ全体の完成車生産戦略の見直しによる新工場建設の中止に起因することから、特別早期退職支援制度の実施に伴う特別加算金と再就職支援に係わる費用を当社と本田技研工業株式会社で負担することに合意いたしました。その結果、受取補償金を計上しております。

(注) 2 取引金額には消費税等を含めず、残高については消費税等を含めております。

### 4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社製品の販売については、総原価等を勘案して当社希望価格を提示し、一般取引条件と同様に決定しております。また原材料の購入については、市場価格を参考に価格交渉の上、一般取引条件と同様に決定しております。

親会社と親会社以外の株主の利益が実質的に相反するおそれのある取引を行う場合には、社外監査役を含めた取締役会において多面的に議論し、決定することとしておりますが、最近事業年度においては、そのような取引は行っていないと認識しております。

以上